

催し物のご案内 (10月～12月)

観察会・講座等

1. 野外観察「サメの歯の化石をみつけよう」〔大磯町・大磯海岸〕
日時：10月17日(土) 10:00～15:00
対象：一般50名
募集：9月8日(火)～9月29日(火)
 2. かながわオープンカレッジ
「植物分類講座」〔博物館〕
日時：11月3日(火)・21日(土)・29日(日)・12月20日(日) 全4回10:00～15:00
対象：一般40名
費用：5,000円
募集：9月22日(火)～10月20日(火)
 3. 室内実習「図鑑を作ろう―魚編―」〔博物館〕
日時：11月8・15日(日) 全2回
9:00～16:00
対象：一般(18歳以上) 10名
募集：10月6日(火)～10月27日(火)
 4. 野外観察「鳥ウオッチング」〔小田原市・小田原城址公園〕
日時：11月28日(土) 10:00～15:00
対象：小中学生とその保護者50名
募集：10月20日(火)～11月10日(火)
 5. 野外観察と室内実習「大地の生い立ちを探る」〔大磯町西小磯・博物館〕
日時：12月12日(土)・13日(日)・26日(土)・27日(日) 全4回10:00～15:00
対象：小中学生・一般20名
募集：11月3日(火)～11月24日(火)
- 申し込み方法：往復はがきに参加行事名、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人全員の氏名と年齢(学年)を明記して、お申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。
- 「身近な自然発見講座」
毎月第3水曜日に、一般の方を対象に、博物館周辺での自然観察や館内での実習・実験をする身近な講座を開催しております。参加費は無料ですが、バス代・電車賃が必要なことがあります。事前の申し込みはおりません。当日、歩きやすい服装で、博物館正面玄関にお集まりください。雨天の時は中止します。
持ちもの：筆記用具、ルーペ、昼食、水筒、雨具、双眼鏡など
10月21日(水) 10:00～15:00
11月18日(水) 10:00～15:00
12月16日(水) 10:00～15:00

企画展・関連行事のご案内

「ふれる彫刻展 Part2

―地球の心を彫る!―

平成10年10月24日(土)～11月23日(月)
＜開催中、11月23日を除く毎週月曜日と11月4日(水)は休館＞

内外の作家約30人による“掌や指でふれる感動”をさそう彫刻約50点を展示します。作品の統一テーマは、生命の星・地球博物館のテーマでもある“地球・生命・共生”です。

観覧料：無料ですが、一部の作品は有料ゾーン(3Fテラス)に展示されます。

「ワークショップ・彫刻にトライ」

アーティストと一緒に石膏で顔を造る、彫像体験ワークショップを開催します。対象は小中学生ですが、小学校3年生までの方には保護者の同伴が必要です。参加費は無料です。

- 第1回 10月25日(日) 9:30～16:00
第2回 11月1日(日) 9:30～16:00

申し込み方法

10月16日(金)までに、往復はがきに「彫刻にトライ参加希望」とお書きの上、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人全員の氏名と年齢(学年)を明記して、下記までお申し込みください。通常の催し物とは申し込み先が異なりますので、ご注意ください。応募多数の場合には、抽選となることがあります。

申し込み先

〒250-0002 小田原市寿町1-1-12 トライ21事務局

博物館からのお知らせ

『自然科学のとびら』

バックナンバーについて

『自然科学のとびら』のバックナンバーは、残部が少なくなっています。図書館、大学・研究機関・学校図書室等で、欠号補充等のためバックナンバーを希望される場合には、博物館企画普及課またはライブラリーまでご相談ください。なお、第1巻1・2・4号は在庫切れ、第1巻第3号と第2巻1～3号は在庫がわずかになっています。

また、バックナンバーは博物館ホームページでもご覧になることができます。

URL=<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html>

個人で『自然科学のとびら』の購読を希望される方は、博物館友の会にご入会くださいますよう、お願いいたします。友の会に関する詳細は博物館企画普及課までお問い合わせください。

ライブラリー通信

雑草を知るための本

絶滅が危惧されている植物がある一方で、雑草のように人々から敬遠され、絶えず防除され続けている植物が隆盛を誇っているのはなぜでしょうか。単に私たちの生活にとって有用でないばかりか、他の有用作物にとって有害とされて邪魔者扱いされている雑草ですが、それは人間の身勝手な価値観に基づくもので見方を変えれば雑草ほど繁殖戦略に成功した植物はないのかもしれない。

ところで、雑草と呼ばれている草にはどんなものがあるのでしょうか。私たちは庭先や空き地に我物顔に生えている草が雑草とは知っていますが、それが何と言う名前の雑草であるのか実は案外知らないのです。もちろん、植物図鑑で検索すればよいのですが、ある程度の知識のある人はともかく一度経験された方はお分かりでしょうが、一般的に植物図鑑は「科」別に分類してあるので、知りたい雑草が何という科に属するのか分からないと、めあての雑草を図鑑のなかに探し当てるのはそう簡単なことではありません。さらに、掲載されている写真やイラストは開花期のものが多いため、生育段階の初期や中期の姿から検索するのは一層困難です。

そんな時役に立ちそうな図鑑に『ミニ雑草図鑑』(全国農村教育協会)があります。副題に「雑草の見分け方」とありますが、一般的な植物図鑑と違い雑草だけを480種取り上げ、まず比較的生育しやすい環境別(水田・畑地・樹園地・非農耕地等)に大きく分類し、しかも生育段階に応じて写真が3～5枚掲載されていて検索しやすいように工夫がなされています。また、当館の学芸員による『足柄平野の雑草』(オールプランナー)は箱根のふもとから足柄平野にかけてみられる代表的な雑草170種を、調べやすいように、花の色別に並べて掲載してあります。小冊子の造りなので散策時の携行には便利です。

いくらか難解ですが『雑草の自然史』(北海道大学図書刊行会)は、雑草の起源、適応力、その生活史戦略はどのようなものなのかを人間との関わりのなかで考察したものです。敬遠され、邪魔者扱いされる雑草ですが、それぞれの名前やその生活史、たくましさの秘密を知るようになれば、これまでの雑草に対する思いも変容して、あるいは億劫な庭の草むしりも別の感慨をもってできるようになるかもしれません。

(司書・内田 潔)